

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2 年	
教科等名		音 楽		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）	
ねらい		(知・技)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発声、身体の使い方に気付き、歌唱で表している。 (思・判・表)どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもとうとしている。 (主)曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協同的に学習活動に取り組もうとしている。				
担当教員		教員：津田直子 新田真 上野はつえ				
年間授業時数		3 6 単位時間				
使用教科書		MY SONG 6 改訂版（教育芸術社）				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫		
4	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	7	○歌唱・手話歌 ◆曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けることができるようになる。	・活動を楽しむ中で、自然な発言を引き出す。 ・生徒が扱いやすい道具を使用する。(重さや長さなど) ・楽器だけでなく身体を使って音楽を感じられるようにする。		
5						
6						
7	能や謡に親しもう	6	○鑑賞 ◆能を鑑賞したり能について調べたりしながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解することができるようになる。	・役割、順番交替場面や友達に注目される場面を設定する。 ・授業や友達の様子に注意を向ける働きかけを行う。 ・個々の発達段階に応じて細かな課題を設定する。		
9	ミュージカル・ナンバーを歌おう	7	○歌唱・鑑賞 ◆ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける			
10						
11						
12	ボディー・パーカッションなど音を表現することに挑戦しよう	6	○器楽 ◆演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解することができるようになる。			
1	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	1 0	○器楽 ◆一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるようになる。			
2						
3						

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		外国語	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技) 日本語と外国語との音声の違いを感じ、音声や表現に慣れ親しむ。 (思・判・表) 目的や場面を意識し、聞いたり話したりして表現する。 (主) 言語やその背景にある文化の知識を広げ、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝 CG：井上智佳子		
年間授業時数		38 単位時間		
使用教科書		「Enjoy English①」日本トータルアカデミー		
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	月・曜日、挨拶表現、天気、自己紹介、動作表現	14	○自己紹介 ・挨拶表現 ◆定型文を使用して、自分の名前や好きなものを発表することができる。 ○日常生活に身近な英単語の学習 ◆自分の誕生日や曜日、天気を理解する。 ○動作表現 ◆歌やダンスを交えながら、動作表現を覚える。 ○ALT とのコミュニケーション ◆ALT の発音のあとについて発声したり	・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・パソコンやCD、DVD 等の英語教材を使用し、視覚的聴覚的にわかりやすい授業をする。
5	ALT		リズムに合わせて単語を言ったりできる。	
6			○身体の一部 ◆単語を理解して定着する。	
7			○食べ物 ・野菜、フルーツ等の単語の学習 ◆単語を理解して定着する。（読む、書く、聞く、話す） ○外国文化の体験活動 ・ハロウィン、クリスマス等の文化の学習 ◆体験活動を通して、外国文化を知り、親しむことができる。 ○ALT とのコミュニケーション ◆聞かれたことに Yes、No など英語で答えることができる。	
9	身体の一部に関する英語表現、食べ物に関する単語、外国文化体験	14	○お店に関する表現 ・スーパー等で使う表現の学習 ◆注文を聞いたり受け取ったりすることができる。	・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・具体物や音楽等を活用し、外国文化の雰囲気を感じられるようにする。
10	ALT		○尋ねる時に使える表現 ・道や交通手段を説明する表現 ◆単語を知り、発音することができる。 ○ALT とのコミュニケーション ・簡単な英語で会話をする。 ◆ALT を通じて、単語や異文化を理解することができる。	
11				
12				
1	お店に関する英語表現、尋ねる時に使える表現、異文化理解	10		・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・絵カードや具体物、動画等を提示し、言葉とイメージがわかりやすく結びつけられるようにする。
2	ALT			
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2 年
教科等名		家庭		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技)家庭生活を送るために必要な、道具の名称やその使い方を理解し、安全に使えるようになる。 (思・判・表)自分の知識や技能を生かして、衣生活・住生活・食生活・消費生活について判断したり、考えたり、発表したりする。 (主)家庭生活に関心をもち、主体的・協同的に学習活動に取り組もうとする態度を養う。			
担当教員		教員： 上野はつえ 新田真 荒屋澄枝			
年間授業時数		76.5単位時間			
使用教科書		家庭科の教科書小学校低学年～高学年用（山と溪谷社）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	ガイダンス 家庭生活で必要な用具 衣服の洗濯、手入れ、アイロンがけ	7	○1年間の学習予定 ◆家庭科の学習に見通しをもち、関心をもって主体的に学べるようになる。(主)	・一年間の学習の流れを提示する。	
5		7	○衣・食・住に必要な用具の学習 ◆家庭生活で必要な用具について知り、場面と合わせて用法を考える。(思・判・表)	・生徒にとって身近な事柄を題材にする。	
6		14.5	○衣服の役割、手入れ方法の学習 ◆衣服の役割やTP0について理解できるようになる。(知・技) ◆洗濯機の使用や手洗いやアイロンがけの体験を通し家庭生活への理解を深める。(知・技)	・具体物を提示し興味をもちやすいようにする。	
7					
9	被服 小物製作 調理学習	14	○被服制作 ◆小物作りを通して、被服道具の使い方について、実体験を通して安全に使えるようになる。(知・技) ◆完成を想像し、自分らしさを表現して、作品をつくる。(思・判・表)	・実習を通して、被服道具の使用方法を学習する。安全にできるよう、生徒の実態に合わせた用具を用意する。	
10					
11		20	○調理学習 ◆調理を通して、料理がどのようにできているのかを知り、実体験を通し安全に調理用具を使えるようになる。(知・技) ◆自分の食べているものがどのように作られているのか意識する。(主)	・生徒の実態に応じて用具を準備する。視聴覚教材を用意し、わかりやすくする。	
12					
1					
2	整理整頓 衛生管理	14	○整理整頓 ◆机やロッカーなど自分の使用する場所について整理整頓する力をつける。(知・技) ○掃除 ◆掃除用具の種類や使用方法を学び、正しく使用して掃除をする。(知・技) ○清潔 ◆手や髪や身体の正しい洗い方を学び、足湯などで部分的に実践する。(知・技)	・DVDやインターネットを利用する。 ・手順をイラストなどで分かりやすくする。	
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		保健体育	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 （思・判・表）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 （主）各種の運動にすすんで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。		
担当教員		新田真 福島聡 長岡優花 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		72 単位時間		
使用教科書		イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子供とマスターする45の操体法（合同出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	体づくり運動	2	○ストレッチ、サーキット運動 ◆身体の各部位を意識して動かすことができる、または動かそうとしている。（主）	・簡単な動作を取り入れ模倣できるようにする。
5	陸上競技	2	○課題走、スラローム走、リレー走など ◆自己の課題を見つけ、解決に向けて工夫することができる。（思・判・表） ◆記録の向上をめざし主体的に運動へ参加する。（主）	・選択肢を提示し、主体的に課題を発見できるようにする。 ・徐々に教職員の補助を減らす。
6		6		
7	水泳	2	○水中でのリラクゼーション、呼吸法、泳法の基礎 ◆水中での力の抜き方や呼吸法について知ることができる。（知・技） ◆さまざまな浮き方や泳法の基礎となる動きを身に付けることができる。（知・技）	・全身を介助することで、水中での不安を軽減できるようにする。 ・始めは動きを補助し、徐々に一人で反復できるようにする。
9		4		
10	武道（空手） ※東京 2025 デフリンピック理解	8	○空手の歴史、基本動作、形など ◆空手の歴史や基本動作・形などについて知り、理解を深めることができる。（知・技） ◆自己の課題を理解し、練習に取り組むことができる。（主）	・実態に沿って課題提示を行う。 ・個の実態に応じた道具の設定を行う。
11		4		
11	けがや疾病の予防	4	○応急手当やAED ◆止血、患部の保護、AEDについて知る。（思・判・表）	・実物やICT機器を使用して、五感で内容を理解できるようにする。
12	ダンス	8	○リズム体操、創作ダンス ◆身体の各部位を意識して曲げたり伸ばしたりすることができる。（思・判・表）	・大画面のプロジェクターを使用する。
1	球技（ハンドサッカー）	6	○ドリブル、パス、シュート ◆自己の課題を見つけ取り組める。（思・判・表） ◆友達と協力して練習や試合に参加することができる。（主）	・個々の実態に沿って課題設定する。 ・生徒の実態に合わせてルールの設定を行う。
2		8		
3		4		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		作業学習	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）作業活動を計画的に継続して行うことで、充実感や達成感を得る。 （思・判・表）将来の社会参加に向けて、生徒一人一人が生き生きと生活するために必要な意欲や態度を培い、人間関係の形成を図る。 （主）安全への配慮や基本的な道具の扱い方などを知り、日常生活でも活用できる力を身に付ける。		
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		72 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	・オリエンテーション ・ほうれんそう	2 2	○今年度の作業学習の内容について知る。 ◆1年間の学習内容について見通しをすることができる。（知・技） ○報告、連絡、相談について知る。 ◆報告や連絡、相談の仕方について模倣したり発声したりすることができる。（主） ○図書の整理について知る。 ○図書館や図書コーナーの清掃方法について知る。 ◆図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。（知・技） ◆清掃方法について内容や手順を理解することができる。（知・技） ◆自分にできることを見つけることができる。（主）	・作業場所を見学しながら説明し、イメージを膨らませることができるようにする。 ・報告、連絡、相談の仕方について、毎回の導入時に手本を示し模倣を促す。 ・配置図や指示書などを提示し視覚的に理解できるようにする。 ・ICT機器を活用して、指示を繰り返し聞くことができるようにする。
5	・図書の整理 ・図書館や図書コーナーの清掃	6		
6		6		
7		6		
9	・図書の整理、清掃	8	○図書の整理や清掃に取り組む。 ○新聞の整理に取り組む。 ○本のPOPやポスターなどの掲示物を整理する。 ◆自分にできることを見つけ、主体的に取り組むことができる。（主） ◆新聞の受け取り方や並べ方を理解し、実践することができる。（知・技） ◆本のPOPや掲示物の整理について理解し、実践することができる。（知・技） ◆自分の役割を理解し、作業を進めることができる。（思・判・表） ◆作業の正確性を向上することができる。（知・技）	・個々の操作性に合わせて用具や補助具を工夫する。 ・ICT機器を活用して、視覚や聴覚で指示を理解できるようにする。 ・グループ以外の他者と関わる学習場面を多く設定する。
10	・新聞の整理 ・本のPOPや掲示物の整理	8		
11		8		
12		6		
1	・図書の整理、清掃	6	○図書の整理や清掃に取り組む。 ○新聞の整理に取り組む。 ○本のPOPやポスターなどの掲示物を整理する。 ◆自分にできることを見つけ、仲間と協力しながら、主体的に取り組むことができる。（主） ◆新聞の受け取り方や並べ方を理解し、他者と丁寧に受け答えをしながら実践することができる。（思・判・表） ◆図書館支援員と連携して図書の整理や清掃を実践する。（知・技） ○1年間の学習を振り返る。 ◆自己の学習記録を振り返り、整理した内容を発表することができる。（主）	・ICT機器を使用して一人で発表することができるようにする。 ・タブレット端末を活用して表を作成できるようにする。 ・1年間の作業の様子や写真を記録にまとめ、自己の学習を振り返ることができるようにする。
2	・新聞の整理 ・本のPOPや掲示物の整理	8		
3	・1年間のまとめ	6		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		生活単元学習	学習グループ(教育課程)	B (知的代替)
ねらい		(知・技) 社会生活を送るために必要な知識や技術の習得を目指し、練習をする。 (思・判・表) 生活場面における課題に向き合い、適切な行動を選ぶ。 (主) 自分と身近な社会や自然との関わりに興味をもち、進んで活動する。		
担当教員		教諭：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝 CG：井上智佳子		
年間授業時数		36 単位時間		
使用教科書		「イラスト版子どものお手伝い子どもとマスターする49の生活技術」(合同出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	オリエンテーション	1	○年間の学習内容を確認し、期待感を高める。	・体験的な活動を中心に行う。 ・身近な生活技術を身に付けられるような活動を取り入れる。 ・各教科の学習内容が含まれるよう単元の内容を設定する。
5	買い物に行こう	3	○買い物に必要な知識や行動を身に付ける ◆簡単な地図の読み取り、安全な歩行、買い物時のやりとりができる。	
6	植物を育てよう	8	○植物を育てる(種まき、苗植え、水やり、間引き、収穫、観察) ◆植物が育つ様子に興味をもち、観察したり世話をしたりする。	
7				
9	社会見学へ行こう	9	○社会見学の事前学習・事後学習 ◆社会見学時の内容やルールを知り、興味をもつ。 ◆社会見学で楽しかったことや学んだことなどを振り返る。	
10				
11	お楽しみ会をしよう①	5	○お楽しみ会の計画、準備、実施 ◆グループのみんなで楽しめる活動を考え、担当の係の仕事をしたり、活動を楽しんだりする。	
12				
1	世界の遊びを体験しよう	5	○世界の文化を知り、遊び体験を広げる。 ◆新しい活動にも挑戦して、友達と一緒に楽しむ。	
2	おたのしみ会をしよう②	5	○お楽しみ会の計画、準備、実施 ◆お楽しみ会①をふまえ、新しい企画を考えたり、前回とは異なる係を担当したりして、発想や経験を広げる。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		総合的な探究の時間	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）課題の解決に必要な知識・技能を身につけ、探求的な学習のよさを理解する。 （思・判・表）自他の課題を発見し、解決のために情報を集め、発表することができる。 （主）互いのよさを生かしながら、協同的・積極的に参加しようとする態度を養う。		
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		36 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	・オリエンテーション ・自己 PR	1 2	○学習予定の確認 ◆1 年間の学習内容について見通しをすることができる。（主） ○自分の長所や魅力を他者へ伝える。 ◆自己の良さに気付き、手段を用いて他者へ伝えることができる。（思・判・表） ○生徒会活動について理解を深め、主体的に行動することや協同について考察する。 ◆身近な活動から、役割や分担、企画や運営について考えることができる。（知・技） ○本の魅力や良さについて考察する。 ◆本の魅力や良さを見つけることができる。（知・技） ◆本の魅力や良さについて、ワークシートやプレゼンテーションソフトでまとめることができる（思・判・表）	・ワークシートを用いて主体的に発表できるようにする。 ・プレゼンテーションソフトを用いる。 ・発表、発言の機会を多く設ける。 ・他の例示からヒントを得られるようにする。
5	・「生徒会活動」とは何だろう。	3		
6	・「本の魅力」について考える。	3		
7		3		
9	・夏休み報告 ・「本の魅力」を伝えよう。	1 3	○夏休み報告会 ◆夏休みの出来事を発表し、他者の体験談からイメージする力を養う。（主） ○好きな本の魅力を他者へ伝える。 ◆好きな本のポスターを作成することができる。（思・判・表） ◆わかりやすく伝えるための工夫をすることができる。（知・技） ○お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行う。 ◆自己の役割をみつけ、積極的に参加することができる。 ◆自己の役割を理解し、他者と協力して活動することができる。（主）	・ICT 機器を使用して文字や絵を伝えられるようにする。 ・自分の意見や考えを整理して、集団の中で伝えられる発表の場を設ける。 ・活動内容や役割分担を明確にする。 ・グループワークを設定し、他者と意見交換ができるようにする。
10		3		
11	・お話会の企画、開催	4		
12		4		
1	・冬休み報告	2	○冬休み報告会 ◆冬休みの出来事を、タブレット端末を活用して発表することができる。（知・技） ○生活習慣チェック表作り ◆自己分析を行い、自ら課題を発見し、改善策を考えることができる。（思・判・表） ◆わかりやすく伝えるための工夫をしようとしている。（知・技） ○進路について考える。 ◆進路先や様々な仕事について知ることができる。（主） ◆自分の適性から、どのような仕事や作業ができるか考えることができる。（思・判・表）	・ICT 機器を使用して一人で発表できるようにする。 ・タブレット端末を活用して表を作成できるようにする。 ・1 年間の個々の学習の様子や役割を写真で提示し、具体的にイメージできるようにする。
2	・生活習慣を振りかえってみよう。	4		
3	・進路学習	3		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		特別活動・ホームルーム活動	学習グループ（教育課程）	
ねらい		(1) 学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く。 (2) 活動を通じて行事への見通しをもつ。 (3) 友達や教職員とのコミュニケーションを広げる。		
担当教員		教員： CG：		
年間授業時数		40 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	高2年生のスタート	14	○2年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係り活動決め等 ◆今年度の活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く活動を設定する。 ・行事に合わせた活動を設定する。 ・個々の自主性を引き出すために、活動内容を生徒が決める機会を設定する。
5	体育発表会に向けて		○体育発表会に向けて練習や準備を行う。 ◆本番に備えて期待感を膨らませる。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
6	レクリエーション活動		○ペーパー相撲等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
7	修学旅行に向けて（事前学習）		○修学旅行に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係等を決める中で宿泊の見通しをもつ。	
9	修学旅行に向けて（事前学習、事後学習）	15	○修学旅行に向けた準備、事後学習をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係り等を決める中で宿泊への見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
10				
11	レクリエーション活動		○季節の行事、ジェンガ、坊主めくり、すき焼きゲーム等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。	
12	学期のまとめ		○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆次学期につながる振り返りを行う。	
1	レクリエーション活動	11	○季節の行事、ジェンガ、坊主めくり、すき焼きゲーム等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。	
2	1年のまとめ		○一年間の学習活動、個人の成長を振り返る。 ◆今年度を振り返ることで次年度に繋げる。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2 年
教科等名		日常生活の指導		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技)日常生活の諸活動を身につけ、周囲の状況に合わせてできる。 (思・判・表)授業の開始の時間を意識するなど、時計を見て動く生活習慣を身につける。自分の行動について、報告・連絡・相談ができる。 (主)自分の健康管理、個別課題に取り組む態度を養う。			
担当教員		教員： 上野はつえ 新田真 荒屋澄枝			
年間授業時数		1 8 2 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	自己課題に取り組む 排泄・衛生指導 (通年)	1 8 2	○着替え ◆自分で着替え、支援依頼、脱いだ服の管理などができるようになる。(知・技)	・生徒個々の生活リズムを担当教員全員が把握し、生徒が主体的に教員と関わることができるような指導体制を考える。	
5			○各教科の予習・復習 ◆自分で必要な活動を把握できるようになる。(思・判・表)		
6			○連絡帳の記入 ◆自分の予定を把握することができるようになる。(思・判・表)		
7			○機能訓練 ○ストレッチ ◆自身の課題を把握し、自分の身体の特徴をとらえて、機能訓練、ストレッチの方法を知る。(主)	・生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、食前・食後のルーティンを明確にする。	
9			○給食前後の取り組み (準備片付け、姿勢変換、水分摂取等) ◆自身の給食の準備、片付け、それに付随する活動ができるようになる。(知・技)		
10			○排泄指導 ◆排せつリズムの確立、自立に向けて衛生管理、排泄リズムの確立、協力動作や、支援依頼ができるようになる。(主)		
11			◆自己課題を理解して、自主的に取り組むことができるようになる。(主)	・自分で準備や片付けができるように滑り止めなどの教具の工夫をする。	
12			<給食前後のルーティン例> ・食前 排せつ、手洗い、テーブル拭き、エプロンやタオルの準備		
1			・食事中 姿勢、箸やスプーンの持ち方、食べ方、身だしなみ		
2			・食後 食器の片付け、エプロンやタオルなどの片付け、歯磨き、テーブル拭き、排せつ、給食ワゴンの片付け		
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		国語	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。 （思・判・表）出来事の順序を思い出す力や感じたり創造したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりする。 （主）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。		
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		76.5 単位時間		
使用教科書		くらしに役立つ国語（東洋館出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	発表をしよう	4.5	○休日の出来事を発表する。 ◆発表内容を簡単な言葉でまとめて伝える。（主）	・答えやすいように選択肢を用意する。 ・身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 ・具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT 機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。
	動画を見て言葉を探そう①	5	○動画の中から、日常生活でよく使用する単語や興味のある言葉をみつける。 ◆単語や文章を正しく発音したり書いたりする。（思・判・表）	
5	ことわざ	6	○身の回りにあるいろいろな言い回しの言葉やことわざの意味や使い方を学ぶ。 ◆たとえの言葉などの意味や使い方を理解し、具体的に表現する。（思・判・表）	
6	個別学習①	7	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、単語など） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（思・判・表） ◆言葉や手紙の書き方の決まりを理解し、手紙の内容をわかりやすく書く。（知・技）	
7				
9	音読をしよう	8	○発音しやすい2～3文字の単語、2～3語文の音読に取り組む。 ◆教師の促しに応じ、進んで発声し伝えようとする。（主）	
	物語①	8	○物語に興味をもち、一場面を再現する。 ◆物語の内容に沿った表現ができる。（知・技） ◆物語の言葉を模倣することができる。（思・判・表）	
10				
11	日常生活から見つけよう	8	○日常生活で気になることや自分の興味のあることについて調べて発表する。 ◆資料を集め、要点をまとめ、発表する。（主）	
12	個別学習②	8	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、簡単な文章など） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（知・技）	
1	動画を見て言葉を探そう②	8	○動画の中から、日常生活でよく使用する単語や興味のある言葉をみつける。 ◆単語や文章を正しく発音したり書いたりする。（思・判・表）	
2	物語②	7	○物語を読み、関連する質問に答える。 ◆登場人物や出来事について正しく理解し、答えことができる。	
3	個別学習③	7	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、簡単な文章、コミュニケーションなど） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（知・技）	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		数学	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）数量や図形などについて基礎的な概念などを理解し、分類したり、簡単な計算をしたりする技能を身に付ける。 （思・判・表）日常生活の事象について、ものの数や図形に着目し、具体物や図などを用いて表現する力を養う。 （主）数量に関心をもち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。		
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		76 単位時間		
使用教科書		「くらしに役立つ数学」（東洋館出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	数と計算	7	○買い物などの日常生活の場面で必要な計算をする。（大きい数、小数、分数、正の数・負の数、3桁以上の計算） ◆生活に必要な大きな数について理解する。電卓を使った計算ができる。（主） ◆小数や分数の読み方や書き方を理解する。（知・技）	・日常生活で使用する具体物を用いて、数の概念理解を促す。 ・身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 ・具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 ・実物の図形を用意し、視覚的にイメージが持てるようにする。 ・工作用紙などを用意し、図形を作成する。 ・問題演習で反復学習を行う。
5	生活と時間	8	○1日の生活を時間で考える。（時刻と時間、時刻と時間の計算） ◆時計から時間を読み取り理解することができる。（思・判・表）	
6	個別学習①	7	○計算プリント ◆2桁の計算などが正確にできる。（思・判・表）	
7			○具体物を用いた数唱、数の理解 ◆日常生活の数字に興味をもつことができる。（思・判・表）	
9	変化と関係・データ活用	12	○仮想の1ヶ月の生活費を基に、表に表し、計算をする。（かけ算・わり算、およその数、割合とグラフ、比例） ◆資料から必要なデータを読み取り、表に整理する。概数を理解する。（知・技）	・工作用紙などを用意し、図形を作成する。 ・問題演習で反復学習を行う。
10	測定	12	○日常生活で身近にある物の長さや重さを調べる。（長さ、重さ、単位の読み方） ◆長さ、重さの測り方や量、単位の読み方や使われ方を知り、実際に測定する。	
11	個別学習②	8	○計算プリント ◆3桁の計算などに親しむ。（知・技） ○具体物を用いた数唱、数の理解 ◆日常生活の数字に興味をもつことができる。（主）	
12				
1	図形	8	○身近な場所、容器の面積や容積を計算する。（図形の基本・多角形、円、立方体・立体、面積・体積） ◆面積や体積の単位、計算式や公式を理解する。（知・技）	
2	個別学習③	7	◆計算式や単位を考え、計算する。（主） ○カードを使ってゲームをする。 ◆同じ数と同じ数を合わせることができる。（思・判・表）	
3		7	○計算プリント ◆少しの支援で3桁の計算などができる。（知・技） ○10までの数概念、色や形のマッチング ◆日常生活の数字に興味をもつことができる。（主） ◆数の合成を理解できる。（思・判・表）	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2 年
教科等名		美術		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技)造形的な視点を気付き、意図に応じて表現方法を工夫して表す。 (思・判・表)美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げる。 (主)創造活動を楽しみ、豊かな情操を培う。			
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝 CG：井上智佳子			
年間授業時数		72 単位時間			
使用教科書		「うつくしい絵」 偕成社			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	【絵画】 版表現	1 2	○顔の版画を制作する。 ◆表したい顔の表情に合う、形や色を選んで制作する。 ◆自分や友達の作品から、よさや美しさを感じる。	・生徒の実態に合わせて、扱いやすい材料や道具、指導方法の工夫をする。	
5					
6					
7	【立体造形】 生活が楽しくなる色・形	1 4	○粘土を使い、日常生活で使ったり飾ったりできるものを制作する。 ◆粘土の感触を味わい、特性を理解し、作りたい形を発想する。 ◆作りたいものに合った色や形を工夫して表す。	・生徒の体の動きに合わせて、道具の位置や制作時の姿勢に配慮する。	
9	【映像メディア】 動く絵	1 3	○デジタル機器を使い、作った絵を動かす。 ◆デジタル機器の扱いに慣れ、意図に応じて色や形の組み合わせを工夫する。 ◆自分や友達の作った絵が動くおもしろさを感じ取る。	・手で顔を触れる習慣のある生徒がいるため、汚れた手はすぐに拭くようにする。	
10					
11					
12	【デザイン】 伝統的な表し方から学ぼう	1 3	○伝統的な表し方を知り、自分のデザインを発想する。 ◆用具を適切に扱い、意図に応じた色や形を選んで表す。 ◆伝統的な表し方に興味をもち、進んで制作に取り組む。	・生徒の実態に合った資料を用意し、イメージをもって制作できるようにする。	
1	【デザイン】 色や模様のイメージを考えて作ろう	20	○コラージュで絵をデザインし、カレンダーを制作する。 ◆季節等のイメージに合う色や形を工夫して配置する。 ◆自分や友達の表し方のよさや美しさに気付く。		
2					
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		自立活動	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技)身体の状態を理解し、身体の使い方や整え方を身につけ、一人で実践したり、教員と協力してできるようになる。 (思・判・表)身体への取り組みなどの手立てを相談し、考えることができる。 (主)学習上又は生活上の困難を主体的に改善しようとする態度を養う。		
担当教員		教員：福永映子 小泉虹華 新田真 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		2 5 6 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	個々の課題に取り組もう (通年)	2 5 6	・教室での自立活動 ○排せつ、水分摂取、身体への取り組み ◆1日の活動に見通しをもつ。(主) ◆あいさつや自分の気持ちを言葉で表現し、コミュニケーションをとる。(主) ◆排せつ、水分補給などで体調を整え、リラックスした気持ちで次の授業に向かう身体を作る。(主) ◆筋緊張を緩める。(知・技) ◆筋を伸ばす。(知・技) ◆係活動に取り組む。(知・技)	・学習内容に見通しがもてるよう、活動の流れを確立させる。 ・個々の状況に合わせて、達成感がもてるよう補助具等を用意する。
5				
6				
7				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3			・自立活動 ○身体への取り組み ストレッチ、ブリッジ、寝返り、よつばい、膝立ち、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行、自転車など、教室で普段できない活動 ◆筋緊張を緩める。(知・技) ◆筋を伸ばす。(知・技) ◆体幹を鍛える。(知・技) ◆骨盤を起こして保持を行う。(知・技) ◆体幹を伸展させて座位を行う。(知・技) ◆重心を前方へ移しながら立ち上がる。(知・技) ◆足で踏ん張りバランスをとる。(知・技) ◆歩行を行う。(知・技) ◆膝の中間の使い方を理解する。(知・技) ◆体幹を回旋させてバランスをとる。(知・技) ◆障害物に対応しながら歩行や、車いす移動、自転車を行う。(知・技) ◆足底をつけて立ち上がる。(知・技)	・校医（整形外科）、外部専門家と連携を図りながら継続的に取り組めるようにする。 ・自転車やバランスボールなどの教具を使用する。